

統計月報

統計月報 平成28年5月
 公益財団法人 城北労働・福祉センター
 〒111-0021 東京都台東区日本堤2-2-11
 TEL 03(3874)8089 FAX 03(3871)2460
<http://homepage3.nifty.com/johoku/>

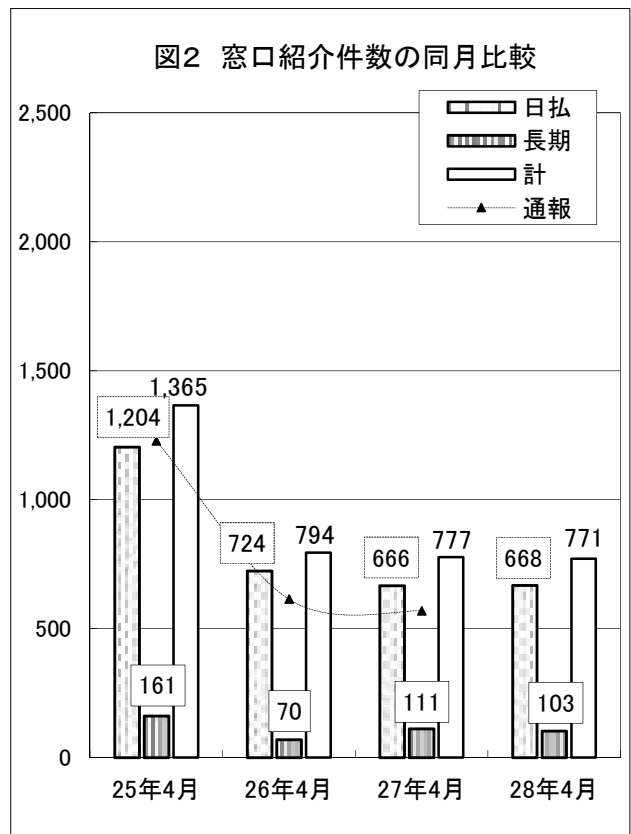
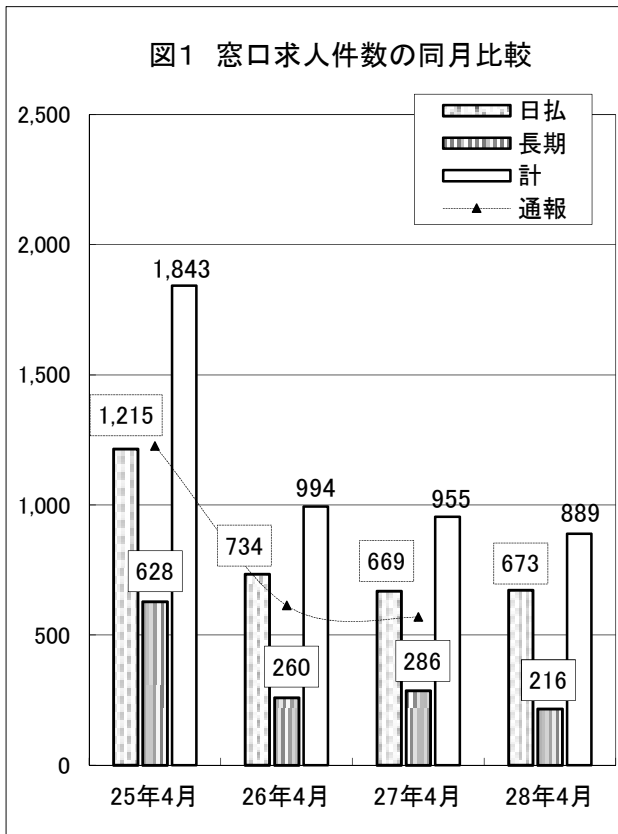
～職業紹介事業の実績(4月)～

(1) センター窓口における求人件数及び紹介件数の概要

職業紹介事業におけるセンター窓口からの求人件数及び紹介件数は、図1及び図2のとおりであった。平成28年4月の窓口求人件数は889件で、27年4月に比べて66件の減少(△6.9%)となった。

窓口紹介件数は771件となり、27年4月に比べて6件の減少(△0.8%)となった。

窓口紹介件数を雇用期間区分別にみると、日払は前年同月比2件の増加(0.3%)、長期は8件の減少(△7.2%)となった。



窓口求人	25年4月	26年4月	27年4月	28年4月	前年比	増減率(%)
日払	1,215	734	669	673	4	0.6
長期	628	260	286	216	△70	△24.5
計	1,843	994	955	889	△66	△6.9

(参考)

通報	1,227	614	569			
求人総数	3,070	1,608	1,524			

窓口紹介	25年4月	26年4月	27年4月	28年4月	前年比	増減率(%)
日払	1,204	724	666	668	2	0.3
長期	161	70	111	103	△8	△7.2
計	1,365	794	777	771	△6	△0.8

(参考)

通報	1,227	614	569			
紹介総数	2,592	1,408	1,346			

*「長期」は、求人・紹介ともに延べ数(人数×日数)

*「通報」とは、登録事業所へ労働者が直接就労した場合で、かつ、その事業所から通報があった件数であるが、「通報」は、平成27年12月末をもって廃止した。

(2) 紹介区分別

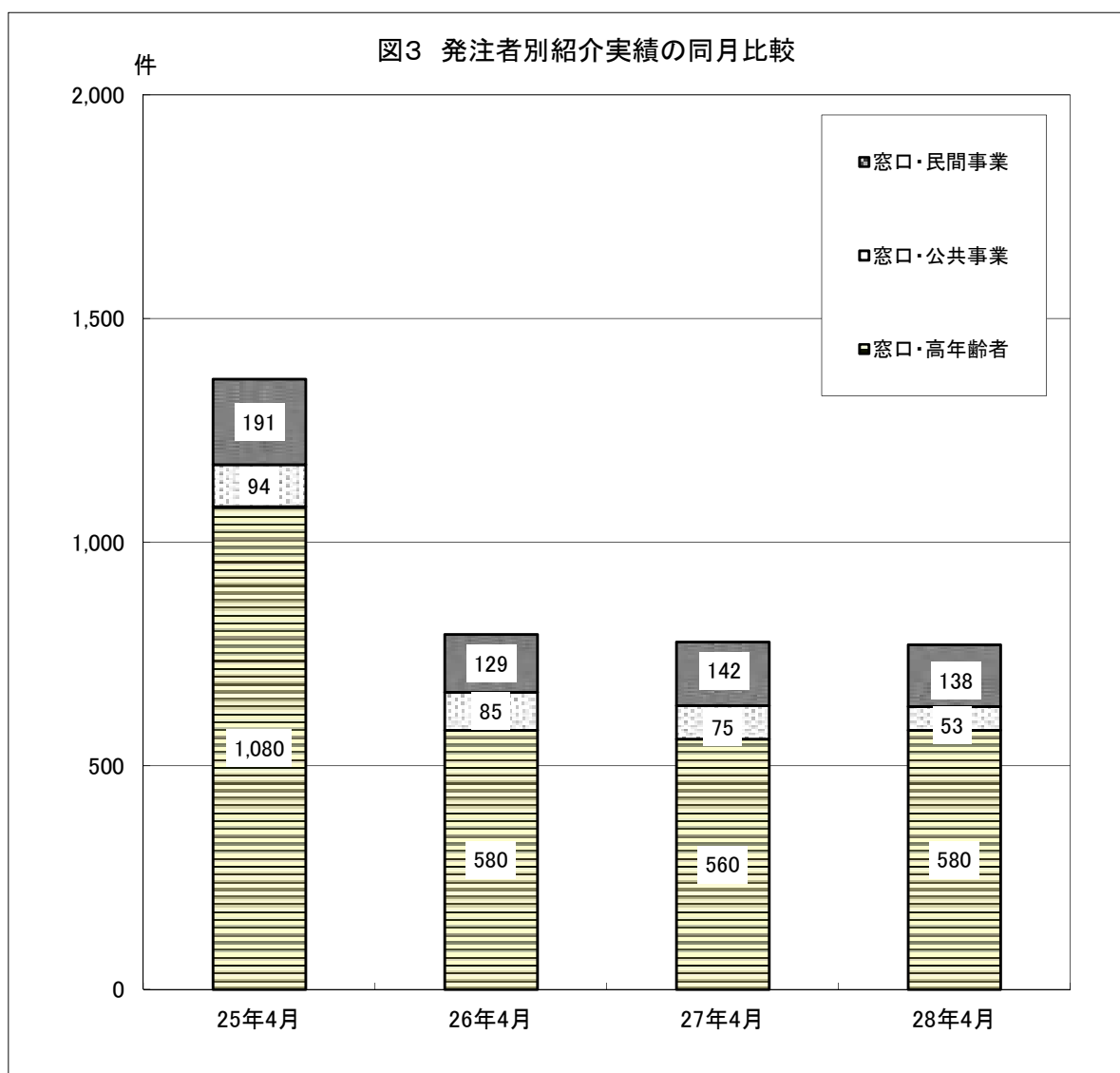
センター窓口からの紹介実績は、紹介区分(仕事の内容(=発注者)別)で以下のように分けられる。

- ① 民間事業
- ② 公共事業 (特別就労対策事業以外で、都や区など公共団体が発注している清掃等の仕事)
- ③ 東京都の「高年齢者特別就労対策事業」(=輪番紹介)

図3より、センター窓口からの紹介実績をみると、

- ① 「民間事業」は4件の減少(前年同月 Δ 2.8%、日払が11件の減少、長期は7件の増加)
- ② 「公共事業」は22件の減少(前年同月 Δ 29.3%)
- ③ 「高年齢者特別就労」は20件の増加(前年同月3.6%)

窓口計では、6件の減少(前年同月比 Δ 0.8%)となった。



	25年4月	26年4月	27年4月	28年4月	前年比	増減率(%)
窓口・民間事業	191	129	142	138	Δ 4	Δ 2.8
窓口・公共事業	94	85	75	53	Δ 22	Δ 29.3
窓口・高年齢者	1,080	580	560	580	20	3.6
窓口計	1,365	794	777	771	Δ 6	Δ 0.8

(3) 紹介実員数

ここでは紹介の延べ件数ではなく、「『何人』に仕事を紹介したか」という観点から、紹介実績の動向をみる。図4のとおり平成28年4月の紹介実員数（＝窓口計）は673人、27年4月に比べ1人の増加(0.1%)となった。

民間事業では、日払いの紹介実員数は38人（前年49人）と11人の減少となり、長期は4人（前年5人）と1人の減少となった。輪番による公的就労を除いた、民間ベースの窓口紹介実績は一日平均2.1人であった。

図4 紹介実員数の同月比較

		27年4月	28年4月	前年同月比増減数	増減率(%)
窓 口	民間事業	54	42	△12	△22.2
	公共事業	58	51	△7	△12.1
	高齢者特別就労	560	580	20	3.6
紹介実員数(窓口計)		672	673	1	0.1

※労働者の高齢化、建設現場の機械化、就業構造の変化などにより、日雇労働市場が衰退し、野宿が常態化している労働者も少なくない。

こうした状況の中で、都や区の公共事業を受注した事業所に積極的に働きかけて、センターに未登録であれば登録を促すとともに、登録済みの事業所にも定期的に訪問して、建設・土木だけでなく、高齢者にも従事しやすい清掃や造園の民間求人の確保に努めている。

～生活相談・応急援護事業の実績(4月)～

(1) 受付総数・相談件数（一日当たり受付数・相談数）

図5のとおり平成28年4月の生活相談件数は518件で、27年4月に比べ329件の減少（△14.4件/1日平均）となり、76か月連続してのマイナスとなった。

新規来所件数は8件であった。

図5 受付・相談の月総数及び一日平均の前年同月比較

		月総数				一日平均		
		27年4月	28年4月	増減数	増減率(%)	27年4月	28年4月	増減数
受付		817	519	△298	△36.5	38.9	26.0	△12.9
新規		12	8	△4	△33.3	0.6	0.4	△0.2
生活相談		847	518	△329	△38.8	40.3	25.9	△14.4
内 訳	医療相談	9	10	1	11.1	0.4	0.5	0.1
	生活保護等	4	1	△3	△75.0	0.2	0.1	△0.1
	労働相談	7	17	10	142.9	0.3	0.9	0.6
	応急援護	673	410	△263	△39.1	32.0	20.5	△11.5
	その他相談	154	108	△46	△29.9	7.3	5.4	△1.9
相談総数(計)		859	526	△333	△72.1	40.9	26.3	△14.6

* 来所者が1回の受付で複数の相談を行う場合があるため、受付件数と相談件数は一致しない

(2) 応急援護の内訳

図6-1及び図6-2のとおり、宿泊相談は月合計で前年同月比144件の減少(△45.7%)、給食相談は78件の減少(△30.0%)、物品相談は35件の減少(△39.8%)、交通費相談は6件の減少(△60.0%)となった。

なお、4月の開所日数は、本年度は20日間、25年度から27年度は21日間であった。

図6-1 応急援護数(内訳)の同月比較

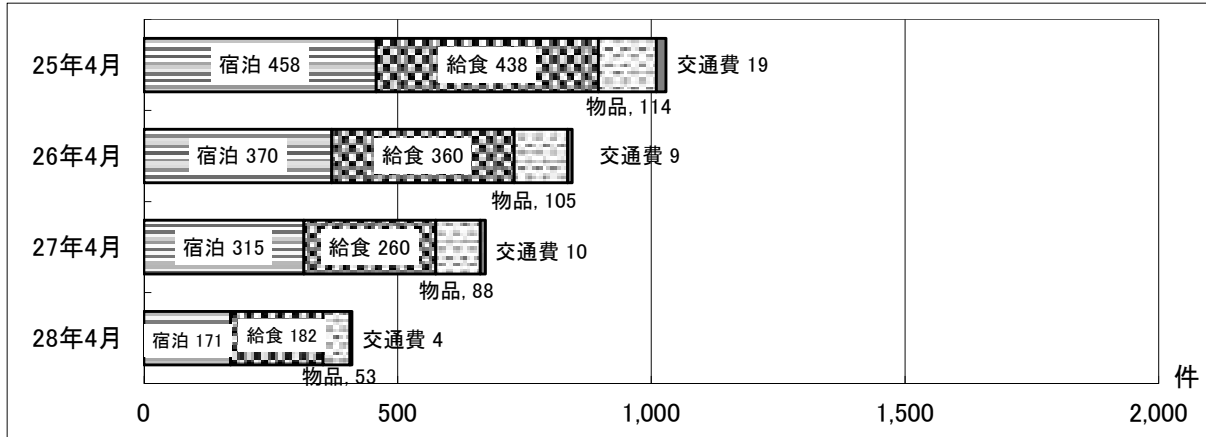


図6-2 応急援護数一日平均(内訳)の同月比較

